

★このファイルには出願書類一式が添付されておられません。

出願の際には『募集要項・学校案内のご請求について』を参照し、

下記どちらかの方法で募集要項を請求してください。

募集要項請求方法

I. 直接来校される場合

事前に学生課教務係にご連絡ください。窓口にてお渡しいたします。

II. 郵送の場合

「募集要項・学校案内のご請求について」をご参照ください。

※お急ぎの場合は、上記送料に速達料金分（290円）の切手を追加し、
「速達」と返信用封筒に朱書きしてください。

<照会先>

独立行政法人国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校 学生課教務係
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑 2236 番 2
TEL : 058-320-1260
Eメール : nyushi@gifu-nct.ac.jp

令和3年度 入学者募集要項

(選抜日程表)

選抜方法	願書受付期間	検査日	合格発表日	入学確約書提出期限
推薦選抜	1月5日(火) ～ 1月8日(金)	1月16日(土)	内定：1月20日(水)	1月27日(水)
	発表：2月26日(金)			
学力検査選抜	1月25日(月) ～ 1月29日(金)	2月21日(日)	2月26日(金)	3月5日(金) 12時(正午)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

岐阜工業高等専門学校

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2
TEL (058) 320-1260 (学生課教務係(入試担当)直通)
ホームページ <http://www.gifu-nct.ac.jp/>
メールアドレス nyushi@gifu-nct.ac.jp

目 次

学生募集要項

	ページ
I. 選抜方法	1
II. 募集人員	1
III. 出願に関する注意事項	1
IV. 評定分布一覧表及び第3学年の 学級別成績一覧表	2
V. 個人情報の取扱い	2
VI. 合格者発表	2
VII. 入学予定者オリエンテーション	2
VIII. 推薦による入学者の選抜	3
1. 出願資格及び推薦要件	3
2. 出願手続	3
3. 選抜方法	4
4. 選抜結果の通知	4
5. 入学確約書の提出	4
IX. 学力検査による入学者の選抜	5
1. 出願資格	5
2. 出願手続	5
3. 選抜方法	6
4. 入学確約書の提出	6
X. 入学案内	7
1. 高等専門学校とは	7
2. 岐阜工業高等専門学校の概要	7
3. 学生受け入れ方針 (アドミッションポリシー)	7
4. 岐阜工業高等専門学校の 教育目標について	9
5. 教育課程	9
6. 卒業後の進路	9
7. 入学金・寄宿料の免除	10
8. 奨学金	10
9. 入学時に必要な主な経費(予定)	11

添付の出願書類用紙

- ・ 入学志願票（及び記入例）
- ・ 写真票（及び記入例）
- ・ 受検票（及び記入例）
- ・ 調査書（及び記入例）
- ・ 推薦書
- ・ 検定料払込書（及び中学校コード表）
- ・ 連絡用宛名シール
- ・ 受検票送付用封筒
- ・ 出願用封筒

(付表)
検査場

帰国子女特別選抜の詳細については、令和2年5月頃に本校HPに掲載します。

令和3年度

独立行政法人国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校 入学者募集要項

共通

I 選抜方法

推薦による入学者の選抜と、学力検査による入学者の選抜の2つの方法で行います。

II 募集人員

各学科の入学定員は、下表のとおりです。

学 科	入学定員	推薦による選抜の募集人員
機 械 工 学 科	40名	各学科とも入学定員の50% (20名) 以内
電 気 情 報 工 学 科	40名	
電 子 制 御 工 学 科	40名	
環 境 都 市 工 学 科	40名	
建 築 学 科	40名	

III 出願に関する注意事項

- (1) 中学校等で複数の志願者があり、取りまとめて出願する場合は、1志願者ごとにクリップ止めを行い、本校所定の出願用封筒を使用し、郵送してください。
- (2) 提出書類等に不備があるものは受理できません。
- (3) 書類提出後は、記入事項の変更は一切認められません。
- (4) 本校が受理した書類及び検定料は、返還できません。ただし、検定料については次の場合に返還請求できますので、本校学生課教務係（入試担当）まで連絡してください。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合
- (5) 提出書類の記載内容に虚偽が認められたときは入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願資格等を審査し、これらを満たしているものについて受け付けます。
- (7) 出願書類を受理次第、受検票を郵送します。受検票が、願書受付締切日から2日間を過ぎても到着しない場合は、本校学生課教務係（入試担当）に照会してください。
- (8) 自然災害に伴う入学検定料免除の臨時措置を行う場合は、その対象及び内容について本校ホームページ（URL <http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載しますので、注意してください。
- (9) 障がい等を有する者等で、受検上もしくは就学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、中学校を経由して本校学生課教務係（入試担当）に相談をしてください。

（障がい等を有する者等の事前相談）

選 抜 区 分	事前相談申請締切日	提 出 書 類
推 薦 選 抜	令和2年12月17日(木)	①事前相談申請書（申請書は、学生課教務係（入試担当）に請求してください）
学 力 検 査 選 抜	令和3年1月15日(金)	②障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

前頁により提出された申請書等に基づき、本校の取るべき措置等を検討します。

なお、検討する過程において必要がある場合は本人、保護者又は学校関係者に照会することがありますので、留意してください。

IV 評定分布一覧表及び第3学年の学級別成績一覧表

中学校等の校長は、出願に関する提出書類等のほか、出願者に関する評定分布一覧表及び第3学年の学級別成績一覧表（各1部）を令和3年2月18日（木）17時までに郵送にて提出してください。

受領書が必要な場合は、同封願います。

ただし、第3学年の成績は調査書の記録（評定）に記載した評定とは異なる場合があります。

V 個人情報取扱い

提出された入学志願票や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- ①入学後の教育・指導
- ②入学料、授業料の免除申請の審査
- ③奨学金申請の審査
- ④本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VI 合格者発表

- (1) 日 時 令和3年2月26日（金） 10時
- (2) 場 所 岐阜工業高等専門学校 岐阜県本巣市上真桑2236番2
- (3) 合格通知

合格者には、合格通知書等を郵送します。

- (4) その他

合格者の受検番号を本校ホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に令和3年2月26日（金）11時に掲載します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

VII 入学予定者オリエンテーション

合格者には本校において、入学予定者オリエンテーションを実施する予定です。日時、その他詳細については後日連絡します。

VIII 推薦による入学者の選抜

1 出願資格及び推薦要件

推薦による入学者選抜に出願できる者は、令和3年3月に次のⅠ～Ⅳのいずれかに該当し、かつ下記(1)～(3)を満たしている者のうち、在籍中学校等の校長が適格者として推薦する者とします。同一中学校等からの推薦人員に制限はありません。

- Ⅰ 中学校を卒業見込みの者
 - Ⅱ 義務教育学校を卒業見込みの者
 - Ⅲ 中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
 - Ⅳ 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (1) 本校への入学意志が、特に強固な者
 - (2) 志望学科に対する志望動機・理由等が明確・適切である者
 - (3) 学業、人物ともに優秀で、次の要件①又は要件②を満たす者

要件①	中学校等第2学年(学年)及び第3学年(2学期又は前期)の5段階の成績評定(9教科)の合計が77以上の者
要件② 右の(ア)及び(イ)の両方に該当する者	(ア) 中学校等第2学年(学年)及び第3学年(2学期又は前期)の5段階の成績評定(9教科)の合計が73以上の者
	(イ) 下記の(a)～(c)のいずれか一つ以上の成果を有する者
	(a) 県大会又はそれと同等以上の大会で3位以内に入賞した者。中体連の大会を除き、令和2年12月17日(木)までに大会要項、大会参加者数等がわかる資料を中学校を経由して提出し、出願時に本校からの「確認通知書」の写しを添付すること。
	(b) 生徒会の会長又は副会長を務め功労があった者。生徒会の会長、副会長をおかない中学校にあっては、それに相当する役職を記載し、生徒会に相当する組織の組織図を添付すること。
(c) 中学校在学時にボランティア活動で国又は地方行政を担う地方公共団体から表彰を受けた者。国又は地方公共団体からの本人氏名の記載されている表彰状の写しを添付すること。	

上記の(a)～(c)については、中学校3年間のものとし、ます。なお、不明な点がある場合は出願に先立ち、願書受付初日までに本校学生課教務係(入試担当)(電話 058-320-1260 直通)に相談してください。

2 出願手続

- (1) 願書受付期間 令和3年1月5日(火)から令和3年1月8日(金)17時まで
期間内必着とし、簡易書留速達の郵送のみ受理します。
- (2) 願書郵送先 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2
岐阜工業高等専門学校学生課教務係(入試担当)
- (3) 出願書類等 下記の書類等を整えて、本校所定の出願用封筒を使用し、願書受付期間中に在籍中学校等の校長を経由して郵送してください。

入学志願票	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
入学検定料 「振込受付証明書」	16,500円 別添の検定料払込書(推薦志願者用)にて納入し、学校提出用を「入学志願票」の裏面に貼付してください。中学校コードは、「中学校コード表」で確認してください。 振込期間 令和2年11月30日(月)～令和3年1月7日(木)
推薦書	本校所定の用紙に、在籍中学校等の校長が作成したもの
調査書	本校所定の用紙に、在籍中学校等の校長が作成したもの
連絡用宛名シール	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
受検票返信用封筒	本校所定の封筒に志願者の住所・氏名・郵便番号を正確に記入し、384円分の切手(速達郵便料金)を貼付してください。

* 推薦書及び調査書様式を本校ホームページ(<http://www.gifu-nct.ac.jp/>)に掲載していますので、こちらにて作成いただいても結構です。必ず当該年度の様式を利用してください。

(4) 入学志願票等記載上、特に注意すべき事項

入学志願票「推薦選抜志願者で不合格となった場合の学力検査受検希望の有無」欄

- ①「推薦による入学者の選抜」の結果、不合格となった場合に「学力検査による入学者の選抜」の受検を希望する場合は、「有」を○で囲んでください。
- ②「有」を○で囲んだ場合は、すべての出願書類（入学志願票・写真票・受検票・調査書）に学力検査による「志望学科」を必ず記入してください。
ただし、第2志望学科を志望しない場合は、斜線を引いてください。
- ③「有」を○で囲んだ場合は、「学力検査による入学者の選抜」による学力検査（令和3年2月21日(日)に実施）を受検することができます。その場合、出願書類等の再提出及び検定料の再納付は必要としません。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、在籍中学校等の校長から提出された調査書（2年・3年）、及び本校が実施する面接の2つの評価項目から総合的に判定します。

(1) 面接の日時 令和3年1月16日(土) 9時30分から

(2) 検 査 場 岐阜工業高等専門学校

岐阜県本巣市上真桑2236番2

TEL 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）

(3) 選抜方法の概要

①調査書点（180点）と②面接点（27点）の総得点207点について、学科ごとに上位の志願者から順に、推薦による選抜の募集人員までを合格とします。なお、当該学科の推薦による選抜の志願者が募集人員に満たない場合にも、面接点の合計が10点に満たない志願者については不合格とします。

評価項目	評価項目の概要	配点
①調査書点	90点（2年と3年調査書）×2（重み付け係数）=180点	180点
②面接点	面接における評価項目と配点 1) 志望学科に対する志望動機 9点 2) 志望学科のアドミッションポリシーとの適合性 9点 3) 倫理観・社会性・特別活動 9点	27点
総 得 点		207点

4 選抜結果の通知

(1) 日 時 令和3年1月20日(水) 17時頃本校から発送

(2) 方 法 郵送

(3) 通 知 先 在籍中学校等の校長及び受検者全員

(4) 文 書 名 推薦による入学者の選抜結果通知書

(5) そ の 他 電話による選抜結果の照会には応じられません。

5 入学確約書の提出（様式は、本校指定。合格内定通知書に同封）

合格内定通知を受けた者は、令和3年1月27日(水)17時までに、「入学確約書」を在籍中学校等の校長の確認を得て、本校学生課教務係（入試担当）へ提出してください。提出方法は、郵送又は持参とします。

なお、期限までに「入学確約書」の提出がない場合は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅸ 学力検査による入学者の選抜

1 出願資格

本校に志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む）
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む）
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和3年3月修了見込みの者を含む）
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※（以下、「中学校等」という）

2 出願手続

- (1) 願書受付期間 令和3年1月25日(月)から令和3年1月29日(金)17時まで
期間内必着とし、簡易書留速達の郵送のみ受理します。
- (2) 願書郵送先 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2
岐阜工業高等専門学校学生課教務係（入試担当）
- (3) 出願書類等 下記書類等を整えて、本校所定の出願用封筒を使用し、願書受付期間中に届くように郵送してください。

入学志願票	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
入学検定料 「振込受付証明書」	16,500円 別添の検定料払込書（学力志願者用）にて納入し、学校提出用を「入学志願票」の裏面に貼付してください。中学校コードは、「中学校コード表」で確認してください。 振込期間 令和3年1月12日(火)～令和3年1月28日(休)
調査書	本校所定の用紙に、在籍（又は出身）中学校等の校長が作成したもの
出願承認書	高等学校に在籍中の者が受検する場合のみ必要です。在籍高等学校の校長が発行したもの。様式は指定しません。
生徒指導要録(写)	高等学校に在籍中の者及び中途退学した者が受検する場合は提出してください。当該高等学校の在籍期間中のもの
連絡用宛名シール	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
受検票返信用封筒	本校所定の封筒に志願者の住所・氏名・郵便番号を正確に記入し、384円分の切手（速達郵便料金）を貼付してください。

* 調査書様式を本校ホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載していますので、こちらにて作成していただいても結構です。必ず当該年度の様式を利用してください。

(4) 入学志願票等記載上、特に注意すべき事項

志望学科

志望学科欄に第1、第2志望学科をそれぞれ記入してください。ただし、第2志望学科を志望しない場合は斜線を引いてください。

なお、推薦による志望学科欄は空欄にしてください。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査の成績及び在籍（又は出身）中学校等の校長から提出された調査書に基づいて行います。

- (1) 学力検査は筆記試験ですが、マークシート方式です。黒鉛筆（HB）を持参してください。
- (2) 検査教科は、理科・英語・数学・国語の4教科です。
- (3) 検査日時

令和3年2月21日(日)	理 科	9時30分～10時20分
	英 語	10時40分～11時30分
	数 学	11時50分～12時40分
	国 語	13時30分～14時20分

- (4) 検査場 岐阜工業高等専門学校
岐阜県本巣市上真桑2236番2
TEL 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）

- (5) 選抜方法の概要

①調査書点（270点）と②学力検査点（400点）の総得点670点について、学科ごとに上位の志願者（当該学科の第2志望志願者を含む）から順に合格とします。なお、4教科の各学力検査点について、極端に低い得点の志願者については不合格とします。すなわち、ある教科について、「本校の全学力選抜受検者の平均点の50%」に満たない得点の志願者は、調査書点、及び他の3教科の学力検査点に係わらず不合格とします。

評価項目	評価項目の概要	配点
①調査書点	90点（2年と3年調査書）×3（重み付け係数）=270点	270点
②学力検査点	100点×4教科=400点（各100点×4教科）	400点
合 計 得 点		670点

4 入学確約書の提出（様式は、本校指定。合格通知書に同封）

合格の通知を受けた者は、「入学確約書」を出身中学校等の校長の確認を得て令和3年3月5日(金)12時（正午）までに提出してください。郵送・持参いずれでも構いません。入学手続きについては合格通知の際、文書により指示します。

なお、期限までに「入学確約書」の提出がない場合は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

X 入学案内

1 高等専門学校とは

高等専門学校制度は、科学技術の急速な発展と産業界の強い要望の下、技術者の不足に応え、有能な技術者の養成を使命として昭和37年度に創設されました。この制度は、6.3.3.4制の学校体系とは別な6.3.5制の学校体系に基づき、中学校等卒業後の5年間を一貫した教育課程によって、効果的に一般教育を実施するとともに、充実した専門教育を行います。この制度により、現在では51校の国立高専、3校の公立高専、3校の私立高専があります。

国立高等専門学校51校は、平成16年4月から「国立高等専門学校の裁量の拡大」と、それによる「個性化・活力化・教育研究の高度化の一層の推進」を目的として1つの法人格にまとまって「独立行政法人国立高等専門学校機構」となりました。本校は、その機構の中の「岐阜工業高等専門学校」として位置付けられています。

2 岐阜工業高等専門学校の概要

1. 創 立 昭和38年4月1日
2. 目 的 教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、有為の人材を育成することを目的とします。
3. 修学年限 5年
4. 学科及び入学定員
機械工学科 40名 電気情報工学科 40名 電子制御工学科 40名
環境都市工学科 40名 建築学科 40名

3 学生受け入れ方針（アドミッションポリシー）

岐阜工業高等専門学校は、

- ・科学技術に夢を託し、人類愛と郷土愛に目覚めること
- ・国際性豊かで世界に羽ばたく気概を持つこと
- ・情報化社会の最前線で活動すること

を教育理念とし、本科5年間と専攻科2年間にわたって、一貫した教育課程のもとで、人間性豊かな倫理観を備えた技術者の育成を目指します。

岐阜工業高等専門学校の本科は、

- ・広い視野を持ち、自立心と向上心に富み、教養豊かな技術者の育成
- ・基礎学力を身に付け、創造力、応用力、実践力を備えた技術者の育成
- ・国際コミュニケーション能力と先端情報技術を駆使する能力を備えた技術者の育成
- ・工業技術についての倫理観を有した技術者の育成
- ・教育研究活動を通じて社会へ貢献できる技術者の育成

を教育目標としています。これらの目標を達成できる資質を持った人の出願を期待し、以下のような能力を総合的に身につけている人を受け入れます。

- ・基礎学力の修得に努めている人
- ・一般教養および専門知識・実践的能力を身につけたい人
- ・好奇心が旺盛で、技術者としての能力開発をめざす人
- ・学んだ知識などを活用して社会に貢献したい人

各学科で受け入れたい人物像

「機械工学科」

- 1) 数学と理科を得意科目とし、広く「ものづくり」に興味があり、生活に役立つ機械を設計・製作する機械技術者になることを強く希望している人
- 2) 目標を達成することの喜びを知り、たゆまない努力をする覚悟のある人
- 3) 社会・自然環境と技術との関わりに関心のある人

「電気情報工学科」

- 1) 電気・電子・情報関連の技術に興味をもち、これらに関する専門知識と技術を修得したい人
- 2) 基礎学力を有し、色々なことに好奇心旺盛でアイデアや創造力が豊かな人、それらの思いを行動に移し、未来の自分を形にできる人
- 3) 電気・電子・情報工学の知識と技術をもって、エネルギーや地球環境などの問題解決や、社会に役立つものづくりを通して、社会貢献を志している人

「電子制御工学科」

- 1) 数学や理科及び英語を得意とし、ものづくりに関心があり、ロボットなど電子制御システムに関わる技術者になることを強く目指す人
- 2) 環境に配慮した電子制御システムづくりに積極的にチャレンジし、好奇心旺盛で向上心があり粘り強くがんばることのできる人

「環境都市工学科」

- 1) 環境負荷を低減した都市のライフライン（交通・エネルギー・情報通信・上下水道などの生活や産業を支えているもの）、自然災害に強い安全な都市づくりについて学びたい人
- 2) 公共事業に携わる技術者として社会に貢献したい人
- 3) 元気がありリーダーシップを発揮できる人

「建築学科」

- 1) 技術・家庭および美術に関わるものづくりや表現が得意で、社会と文化にも関心をもち、建築に関わる技術者になることを強く目指している人
- 2) 環境との関わりを考えつつ、多種多様な意見をまとめ、個性豊かな建築をデザインしたい人

4 岐阜工業高等専門学校^の教育目標について

目的：岐阜工業高等専門学校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、有為の人材を育成することを目的とする。

1. 教育理念

- (1) 科学技術に夢を託し、人類愛と郷土愛に目覚めること。
- (2) 国際性豊かで世界に羽ばたく気概を持つこと。
- (3) 情報化社会の最前線で活動すること。

2. 養成すべき人材像

科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め国際性豊かで情報化社会の最前線で活躍する技術者

3. 教育目標

- (1) 広い視野を持ち、自立心と向上心に富み、教養豊かな技術者の育成
- (2) 基礎学力を身に付け、創造力、応用力、実践力を備えた技術者の育成
- (3) 国際コミュニケーション能力と先端情報技術を駆使する能力を備えた技術者の育成
- (4) 工学技術についての倫理観を有した技術者の育成
- (5) 教育研究活動を通じて社会へ貢献できる技術者の育成

4. 各学科で養成する学力及び資質・能力等の具体的な学習・教育目標

各学科の学習・教育目標の分類	学 校 の 標 語
(A) 倫理	広い教養
(B) デザイン能力	ものづくり
(C) コミュニケーション能力	国際化
(D) 専門知識・能力	深い専門
(E) 情報技術	IT

各学科の具体的な学習・教育目標は、上記の分類に従って、学科別に示される。

5 教 育 課 程

授業科目は、各学科共通の「一般科目」と各学科ごとに異なる「専門科目」から構成されています。一般科目と専門科目をバランスよく配置し、低学年から専門科目を学べるくさび型のカリキュラムを採っています。教育課程の詳細やシラバス（授業計画書）は、本校ホームページに公開されていますので、以下のURLをご覧ください。

教育課程ホームページ <http://www.gifu-nct.ac.jp/syllabus/>

6 卒 業 後 の 進 路

1. 就職状況

本校は昭和38年4月に設置されましたが、高専卒業生は専門知識が高いこと、人間としてまじめで優秀であることなど、社会での評価は高く希望者に対して毎年ほぼ100%の就職率を誇っています。創立以来一貫して産業界からの求人要求は高く、昨年度の求人倍率（求人数÷就職希望者）は、28倍に及んでいます。

2. 進学について

本校を卒業し更に勉学を希望する場合には、次のような進学が可能となっています。

(1) 高等専門学校専攻科に進学する場合

専攻科では、2年間の修業年限をもって、高専各学科の専門の上にさらに高度な専門知識と技術を教授し、大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、学士の学位が取得できます。

専攻科を修了後、更に大学院へ進むことも可能です。

(2) 技術科学大学の工学部系第3学年に編入学する場合

昭和53年4月に長岡と豊橋に設けられた国立大学で、主として高等専門学校卒業生が第3学年に編入しています。学部を卒業後引続き大学院工学研究科（修士課程・博士課程）へ進むことができます。

(3) 大学工学部系第3学年に編入学する場合

ほとんどの国公立大学が、高専の卒業生に対して、第3学年への編入学制度を設けています。学部卒業後、引続き大学院工学研究科（修士課程・博士課程）へ進むことができます。

7 入 学 料 ・ 寄 宿 料 の 免 除

入学料の免除、寮生の寄宿料の免除が制度化されています。

〈入学料免除制度〉

学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が、入学前1年以内に死亡した場合、又は風水害などの災害を受けて入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対し選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度です。

また、所定の期日に入学料の納付が困難な者に対し、徴収猶予の制度もあります。

〈寄宿料免除制度〉

学生又は学資負担者が、風水害などの災害を受けて、寄宿料の納付が困難と認められる場合には、災害を受けた月の翌月から当該年度末までの寄宿料が免除される制度です。

8 奨 学 金

〈奨学金制度〉

日本学生支援機構から、人物・学業ともに優秀で経済的理由のために修学が困難であると認められる者に対し選考の上、奨学金が貸与される制度です。その他に、地方公共団体、民間団体の育英資金等による奨学制度があります。

日本学生支援機構奨学金

第一種奨学金貸与月額（昨年度入学者）

奨学生の種類		貸 与 月 額		
		第1学年～第3学年	第4学年・第5学年	専 攻 科
				第1・2年次
第 一 種	自 宅	10,000円または21,000円から選択	20,000円・30,000円・45,000円から選択	
	自宅外	10,000円または22,500円から選択	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円から選択	

〈予約採用〉

本校に入学後、日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する者を対象に、進学前に予約採用候補者の募集をしています。希望する者は次により手続きをしてください。

1. 申込資格

中学校の3年生に在学し、本校へ入学する希望を持っている者で、特に優れた資質を有し、経済的理由により著しく修学困難な者に貸与されます。

2. 申込時期

10月初旬～12月中旬

3. 申込手続

(1) 現在、在学している中学校を通じて、申込書類一式（申込案内、申込書等）を「日本学生支援機構」に請求してください。

(2) 申込案内に従って必要書類を調べ、在学している中学校に提出してください。

4. 申込みから奨学金振込まで

(1) 中学校長の推薦を受け、日本学生支援機構で選考した結果「予約採用候補者」に決定されます。（申込者全員が候補者となるわけではありません。）

(2) 本校への入学後、進学届の提出等所定の手続きを経て、奨学金の振込みが開始されます。

(注) ① この申込みによって、高等学校での奨学金を受給することはできません。（各都道府県で行っている、高等学校奨学金の予約採用とは異なるものです。）

② 詳細は、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

(<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/yoyaku/kousen.html>)

9 入学時に必要な主な経費（予定）

入学時に必要な経費は、およそ次のとおりです。

■学費等諸経費

区 分	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	
授業料（前期分）	117,300円	年額234,600円（注）
学生会入会金（入学時のみ）	2,000円	
学生会費（年額）	10,800円	
独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金（年額）	1,550円	
教育後援会入会金等（入学時のみ）	12,000円	
教育後援会会費（年額）	22,000円	
若鮎会費（入学時のみ）	13,000円	
トレーニングシャツ（体育用服装）他	約30,000円	
教科書・参考書・電子辞書	約70,000円	金額は学科により異なります
合 計	約363,250円	

(注) 就学支援金制度により、申請者の実際の授業料負担額（半期分）は、市町村民税の所得割額により決まります。支給期間は、原則として第1学年から第3学年までの通算36月です。

寄宿舍（学生寮）に入寮する場合には、入寮当初に以下の諸経費が必要となります。

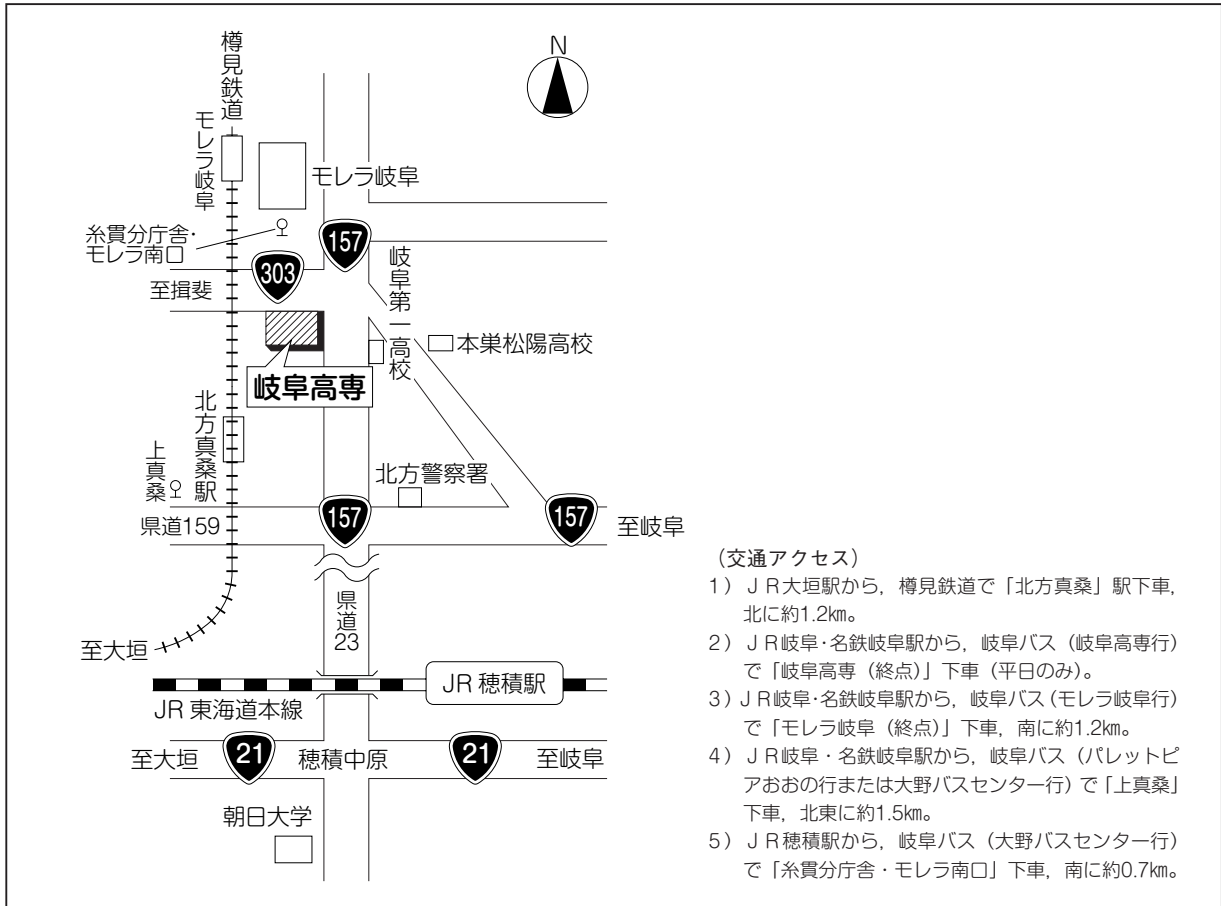
■学生寮諸経費

区 分		金 額	備 考
寄 宿 料（前期分）		4,200円	2人部屋
入 寮 費（入寮時）		3,000円	
寮 費*	光熱水費等（前期分）	25,000円	
	冷暖房費等（前期分）	13,800円	エアコンリース・電気使用料等含む
	給 食 費（月 額）	約34,000円	
寮生会会費（前期分）*		2,000円	
合 計		約82,000円	

*金額の改定を実施する場合があります。

*入寮の可否は選考の上決定します。

検査場



問い合わせ先

**独立行政法人 国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校
学生課教務係（入試担当）**

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2
TEL 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）
（平日8時30分から17時まで）

ホームページ <http://www.gifu-nct.ac.jp/>

メールアドレス nyushi@gifu-nct.ac.jp

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（以下参照）」を受領してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

※振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（サンプル）